

令和4年度（2022年度）

管理事業名	子育て支援事業				総合計画 の体系	大綱 4 子育て・学び			
						政策 1 子育てしやすいまちづくり			
						施策 2 地域の子育て支援の充実			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 2	児童福祉費	(目) 1	児童福祉総務費		
部局名	児童部	予算執行 所属	子育て政策室、のびのび子育てプラザ、保育幼稚園室、こども発達支援センター						
事業の目的と概要 【目的】地域の状況に応じた子育て支援施策を充実し、すべての子どもがすこやかに育つまちづくりをすすめます。 【概要】主な事業内容は次のとおりです。 ・地域子育て支援事業（地域の身近な場所で子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の実施に関する事） ・一時預かり事業（家庭において保育を受けることが一時的に困難（保護者の育児負担の軽減、断続的な就労、傷病等）となった児童の保育所等による一時的な預かり保育に関する事） ・病児・病後児保育事業（病気の児童、病気回復期の児童の一時的な保育に関する事） ・保育幼稚園室の業務改善（保育幼稚園室の業務について、プロセスの可視化及び体系化を実施し、業務改善を行うこと）									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
のびのび子育てプラザ施設利用者数	人	27,907	31,690	41,734	のびのび子育てプラザの利用者数（一時預かり事業利用者含む）
地域子育て支援センター育児教室実参加組数	組	392	609	1,946	公立保育所、私立認定こども園・保育所で実施する0歳児及び1歳児以上の育児教室の実参加組数
一時預かり延べ利用者数	人	25,516	19,995	22,417	のびのび子育てプラザ、公立保育所・幼稚園、私立認定こども園・保育所等で実施する一時預かり事業の延べ利用者数
病児・病後児保育室延べ利用者数	人	837	1,835	2,398	病児・病後児保育室延べ利用者数

II 活動実績・成果

<p>※指標「地域子育て支援センター育児教室実参加組数」の令和3年度実績を修正</p> <p>【成果指標1】のびのび子育てプラザ施設利用者数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者数41,734人（前年度31,690人） ・件数の増は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、常時開館していたことによるもの。 ・同感染症拡大防止対策により、利用制限を継続していたため、令和元年度までの水準（5万人以上）までは回復に至っていない。 <p>【成果指標2】地域子育て支援センター育児教室実参加組数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実参加組数1,946組（前年比1,337組の増） ・件数の増は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として中止または縮小されていたものが、徐々に事業を再開したことによるもの。 ・しかしながら、同感染症拡大防止対策により、利用制限は継続されていたため、令和元年度までの水準（2,500組程度）までは回復に至っていない。 <p>【成果指標3】一時預かり延べ利用者数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり延べ利用者数22,417人（前年比3,786人の増） ・件数の増は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、受入児童数を増やしたことによるもの。 ・しかしながら、同感染症拡大防止対策により、利用制限の継続や事業所の休止があったため、令和元年度までの水準（31,000人以上）までは回復に至っていない。 ・本事業は、保護者の短時間就労や病児・リフレッシュなど多様なニーズに応えることにより、育児負担の軽減や児童虐待の予防 	<p>につながっており、在宅で子育て中の世帯に対する支援施策の中でも効果の高い優先して実施すべき事業。公立幼稚園及び公立幼稚園型認定こども園の全園においては、保育終了後や長期休業中にも一時預かりを実施している。</p> <p>【成果指標4】病児・病後児保育室延べ利用者数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育室延べ利用者数は2,398人（前年比563人増） ・本事業は、急な病気などで保育を必要とする児童を預かることで、保護者の就労を支援している重要な事業である。 ・令和元年度に3施設を開設し、計6施設で運営している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、利用者数が減少していたが、令和4年度については新型コロナウイルス感染症前の状況に戻りつつある。 <p>【財務情報に基づいた評価】</p> <p>経常費用の主なものは、給与関係費52.8%（410,794千円）、物件費22.3%（173,671千円）、負担金・補助金・交付金等17.7%（137,838千円）である。</p> <p>給与関係費については、主に一時預かり事業等に従事する保育士や看護師等の人件費であり、行政サービスの提供に必要な経費である。</p> <p>物件費については、例年どおりの病児病後児保育事業や地域子育て支援事業の委託料に加え、保育幼稚園室業務改善に係る業務プロセス可視化等支援業務が新たに実施されたことなどにより、前年度に比べ20,273千円の増額となった。</p> <p>負担金・補助金・交付金等については、障害児通所支援事業所物価高騰対策応援金などにより9,507千円の増額となったが、勘定科目の計上誤りや新生児健やか子育て臨時給付金事業が令和3年度で終了したことなどにより、結果、47,639千円の減額となった。</p>
---	--

III 課題と今後の取組

<p>子育て支援事業については、子ども・子育て支援新制度のもとで、事業の多くが国や大阪府の補助金の交付対象となっていることや、補助基準額が年々拡充されていることから、今後もより一層の支援の充実が求められている。</p> <p>地域子育て支援センター事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業など、いずれも保護者の育児の負担感を軽減し、児童の健全育成、虐待の予防等に資する優先順位の高い重要な事業である。</p> <p>私立認定こども園、私立保育所、子育て広場運営団体、市内</p>	<p>の医療機関などへの事業委託や助成、また、施設の管理委託を行い、効率的な事業運営に努めていく。</p> <p>市民ニーズに応じたサービスを提供できるよう、今後も拡充に向け取組みを継続する。</p>
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	42,544	44,811	2,268
	未収金	134	214	81	地方債	7,328	7,396	68
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	24,739	26,852	2,113
	徴収不能引当金	△35	△42	△7	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	10,476	10,563	87
事業用資産	有形固定資産	337,001	328,748	△8,253	その他流動負債	-	-	-
	土地	46,584	46,584	-	固定負債	286,109	266,074	△20,035
	建物・工作物	290,417	282,164	△8,253	地方債	20,723	13,327	△7,396
	リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
	建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	245,954	243,878	△2,076
	無形固定資産	189	189	-	リース債務	19,433	8,870	△10,563
	有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
	土地	-	-	-	負債の部合計	328,653	310,885	△17,768
	建物・工作物	-	-	-	純資産	251,827	271,771	19,944
	建設仮勘定	-	-	-				
固定資産	重要物品	0	0	-				
	図書館資料	-	-	-				
	投資その他の資産	243,191	253,546	10,355				
	出資金	-	-	-				
	長期貸付金	-	-	-				
	基金	243,191	253,546	10,355				
	徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	251,827	271,771	19,944
	その他債権	-	-	-				
	資産の部合計	580,480	582,656	2,176	負債及び純資産の部合計	580,480	582,656	2,176

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	
経常収入	地方税	-	-	-	
	分担金及び負担金	-	-	-	
	使用料及び手数料	-	-	-	
	国庫支出金(経常費用充当)	128,593	111,805	116,201	4,396
	府支出金(経常費用充当)	92,953	89,096	90,249	1,153
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	360	415	390	△25
	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	3	2	2	-
	その他	18,282	17,456	23,200	5,745
経常収入 小計(a)	240,190	218,774	230,043	11,269	
経常費用	給与関係費	390,978	411,704	410,794	△909
	物件費	157,215	153,398	173,671	20,273
	維持補修費	341	375	343	△31
	社会保障扶助費	224	339	302	△37
	負担金・補助金・交付金等	255,828	185,477	137,838	△47,639
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	8,253	8,253	8,253	-
	徴収不能引当金繰入額	30	-	9	9
	賞与引当金繰入額	42,411	24,739	26,852	2,113
	退職手当引当金繰入額	266,373	△117,698	19,522	137,220
支払利息	779	627	473	△154	
その他	-	-	-	-	
経常費用 小計(b)	1,122,432	667,213	778,058	110,845	
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△882,242	△448,439	△548,015	△99,576	
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-	
特別費用	固定資産除売却損	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-	
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-	
一般財源調整額(g)	-	-	-	-	
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△882,242	△448,439	△548,015	△99,576	
一般財源充当額	637,456	614,023	567,959	△46,064	
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	-	
再計	△244,786	165,584	19,944	△145,640	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	240,143	218,798	229,960	11,162
行政サービス活動支出	859,700	815,070	769,759	△45,310
行政サービス活動収支差額	△619,557	△596,272	△539,800	56,472
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	400	100	10,355	10,255
投資活動収支差額	△400	△100	△10,355	△10,255
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	17,499	17,651	17,804	154
財務活動収支差額	△17,499	△17,651	△17,804	△154
収支差額 合計	△637,456	△614,023	△567,959	46,064
一般財源充当額	637,456	614,023	567,959	△46,064
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【BS】 建物・工作物	のびのび子育てプラザ等の施設の減価償却による減(8,253千円)
【PL】 物件費	吹田市保育幼稚園室業務改善に係る業務プロセス可視化等支援業務の委託による増(15,950千円)

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
就学前児童1人	コスト	53,893円	32,596円	39,942円
	実績	20,827人	20,469人	19,925人
	コスト	円	円	円
	実績			

分析内容
就学前児童1人あたり39,942円のコストがかかっている。物件費の増額(吹田市保育幼稚園室業務改善に係る業務プロセス可視化等支援業務の委託)などにより1人あたりのコストが増えました。(実績値は各年4月1日現在就学前児童数)

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	347,771	2,064	41.88
会計年度任用等	108,859		
特別職非常勤	538		
合計	457,168		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		18.9	21.1	23.3	2.2
施設維持補修費比率		0.1	0.1	0.1	0.0
経常費用対公共資産比率		304.9	181.3	211.4	30.1
徴収不能引当率		32.2	26.3	19.5	△6.8
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		72.6	73.7	71.2	△2.5